

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 25 年 2 月 1 日			
所属学部・研究科	文学部 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	グラーツ大学 Karl-Franzens-Universitt Graz (国名: オーストリア)			
所属学部・学科等名	Geistes-Naturwissenschaft			
在籍身分	Austauschstudentin			
留学期間	平成 24 年 9 月 3 日 ~ 平成 25 年 2 月 1 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類:			
	ビザ申請先:			
	取得方法, 提出書類: オーストリアと日本は二国間協定が存在するため、六か月以内はビザなしで滞在することができる。			
	手続きに要した日数:			
その他必要な事前手続き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・留学コーディネーターとのやり取り (HUSA を通さず個人に連絡がくる)</li> <li>・寮費の事前振り込み</li> </ul>			
出国年月日	平成 24 年 8 月 27 日			
経路	福岡→成田→ミュンヘン (ドイツ) →グラーツ (オーストリア)			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他 留学生チューター ) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	約一週間にわたってオリエンテーションが行われる。 履修登録の方法、保険とビザについて (一年留学の人は必須)、ESN の紹介など 内容はドイツ語と英語で行われる (各自で選択可能)			
帰国年月日	平成 25 年 2 月 13 日			
経路	グラーツ (オーストリア) →ミュンヘン (ドイツ) →成田→福岡			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	約 830,000	円	
	内訳	渡航費	232,640	円
		保険料	91,390	円
		教科書代(学費)	約 10,000	円
		宿舍費	約 200,000	円
		食費	約 60,000	円
		その他 ( 旅行費 )	約 200,000	円
( 交際費 )	約 30,000	円		
( 費 )		円		
<b>3. 授業について</b>				
2012 年	コース	9 月 3 日 ~	9 月 21 日	

2012年 冬学期	10月 1日 ~ 2月 1日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	日本での学部を考慮した学部配属となるため、派遣先での学部のガイダンスを受講して、アドバイザーになっている教授に授業の相談を行いながら履修する形になる。基本的に教授の許可さえもらえればどの授業も受講することができる。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	ドイツ語インテンシブコースは履修することをおすすめする。
<b>4. 生活等について</b>	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 1 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 280 ユーロ (現地通貨) 約 30,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	OeAD の寮になると掃除のおばさんが文句を頻繁に言う。きちんと掃除していても言われることがあるので気をつけて。他の寮ではなかったらしい。しかし、買い物や通学など、立地、物件に関してはこの寮が一番便利で綺麗。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	一年間留学する人は保険に加入することが必須なので体制としては安心。病院は利用しなかったのわからないが、薬局は至る所にあるので薬の心配はない。

留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	水道水は基本的に飲めるが、日本人留学生はミネラルウォーターを買う人が多かった。夏は暑く、私と同じ寮だと冷房がないため熱中症に注意したほうがよい。冬は氷点下もざらなので防寒対策はしっかりと行うのをおすすめする。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
基本的には治安がよいので心配ないが、夜はほとんど人がないので一人で出歩くのは控えた方がよい。万引きをしている現場を目撃したこともあったので、スーパーなどには少し注意したほうがよいかもしれない。ウィーンなどの旅行者の多い地域ではスリに注意しておいたほうがよい。グラーツの治安のよさと同じに考えないほうがよい。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 26 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 26 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )	
現在の状況および今後の予定・進路等	現在は就職活動中。卒業年度をずらすことなく卒業し、新卒で就職したいと考えている。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前に卒業要件を卒業論文以外の単位に関しては、ほぼ習得した状態にしておいた。就職活動は開始時期に海外にいるため合同説明会などはほとんど参加できない。就職サイトの利用や企業研究、自己分析に時間を割くとよいと思う。教育実習は就職活動と時期が重なるため、教育免許取得自体を諦めた。ドイツ語で取得するのは難しいと思う。英語圏の人は上手く工夫できるのではないかな。	
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント
Modelle 1,2,3	三修社	1年次から利用していた教科書。文法の確認に便利。
街歩きドイツ語	三修社	ちょっとした時に使えるフレーズが多い。
カフェのドイツ語	三修社	オーストリアはカフェ文化が根付いているので。
<b>7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)</b>		
半年であれ一年であれ、少しでもたくさんのお話を吸収して帰って来れるように、留学先では何事にも積極的に取り組んだ方がいいと思います。留学先でしかできないこと、留学したからこそできることを自分なりに考えてみてください。研究、会話、旅行など、興味がわいたものはどんどんやってみましょう。せっかく手に入れたチャンスです。終わってから後悔することのない素敵な留学にしてください。		

## 学習の概要に関するレポート

### 【履修登録について】

履修登録は締め切りが早いので、早めに興味のある分野で科目を検索し、登録することを強く勧める。ドイツ語インテンシブコースと期間が重なっているため忙しくはなるが、基本的に留学生用の授業がないので、あらかじめ自分が履修しようとしている科目の教授にオフィスアワーを利用して会って話をしておくといよい。人気の授業で **Waiting List** 入りでも単位不要でなら履修可能にもらえるなど、先生によっては考慮してもらえることがある。留学生慣れしていない先生もいるため、事前に話をすることは重要ではないだろうか。

### 【実際の授業】

英語またはドイツ語で行われるのが基本。留学生向けの授業がないため、英語力もドイツ語力もある程度要求される。講義形式の **Vorlesung**、課題がある **Proseminar**、など授業の開講形式も様々。自分のドイツ語または英語力によって授業の種類を決めるのも一つの手かもしれない。学生が授業中に手を挙げて質問することもよくあり、日本とは違った活気ある授業が受けられる。グループワークや意見を求められる授業もあるので、話す機会も積極的に作る事ができる。英語もドイツ語もかなり早く、最初はついていくのにやっとかもしれないが、徐々に耳が慣れてくる。試験は留学生であることをあらかじめ伝えておくと考えられる。

### 【ドイツ語コースについて】

休暇期間中にあるインテンシブコースと学期期間中にある通常のコースがある。どちらも管轄は **Treffpunkt Sprachen** という大学内の組織による開講。よって大学の通常の授業とは履修期間、方法が異なるため注意が必要。ドイツ語コースは料金がかかり、私の時はインテンシブコースが 155 ユーロ、学期期間中のコースが 30 ユーロ、追加でドイツ語コースを履修する場合は 1 コース毎に 50 ユーロが加算される。ただし、これは冬期の割引の効いた学費であり、夏期は割引が適用されないため、もっと高くなる。支払方法は現金またはマエストロカードのみ。クレジットカードは利用できない。教材費は含まれていないため、別途サービスセンターにて購入する必要がある。教員によって使う教材が全く異なるのできちんと確認しておくといよい。なお、**READER** という **Treffpunkt Sprachen** 独自の教材になった場合は、冊子の状態になっていない紙の束を購入することになるので、パンチで穴をあけてファイル閉じにするか、サービスセンターで 1.8 ユーロで冊子状にしてもらうサービスを利用すると使いやすい。冊子状にしてもらう場合は一日かかるため、使う時間に注意して預けるといよい。

### 【予習・復習について】

授業にもよるが大体の授業でレジュメが **Moodle** というオンライン上にアップされていて、登録している授業のレジュメがダウンロードできるようになっている。パソコンやタブレット端末を持ち込んでその画面を開いたり、印刷したりと使い方は人それぞれ。印刷は **RESOWI** のパソコンルームかサービスセンターで出来る。白黒一枚 5 セント、カラー 15 セント。授業前に範囲を読む、訳す（時間がなければ単語をひいておく）をしておくといわかりやすい。復習はその日どんなことをやったのかノートを見直したり、課題をこなしておくといよいのではないだろうか。

## 生活の概要に関するレポート

### 【寮について】

OeAD、WIST、WAeOの三種類がグラーツ大学の提携する寮の事務所。今回広島大学から留学した三人はOeADの寮になった。近くにスーパーが三件、生活用品店も数件あり駅や大学にも一番近い。立地としては一番いい物件だが他に比べると家賃は高め。週一回のペースで掃除のおばさんたちが来る。最初のデポジットがかなり高く、日本にいる間に送金しなければならぬので期日に注意。

### 【交通機関について】

大学までは私の住んでいた寮からは歩いて20分ほどだったので基本的に徒歩通学だったが、バスが大学まで運行しているので利用している人もいた。市内はバスとトラムが主な交通機関で一時間乗車券が2ユーロで、一日乗車券が4.5ユーロ。どちらも市内全域に利用できる。他には三日乗車券、一週間乗車券、一か月乗車券や年間乗車券、10回回数券や学期乗車券がある。タバコ屋、交通事務所のほか、バスやトラムの中でも購入できる。

### 【買い物について】

日曜日は基本的にどのお店も閉まっている。買い物は土曜日までに済ませておきたい。日本のように遅くまで開いているお店は少なく、出来るだけ日中に買い物を済ませておくほうがよい。クリスマス休暇や年末年始、イースター休暇の際は営業時間が変則的になっているので注意が必要。大体の店舗にはビニール袋が置いてあるが、エコバックを持参することをおすすめする。もし持ってきていなくても、レジのそばにプラスチックのレジ袋や紙袋、布製の袋などが売られているのでそれらを購入するとよい。日本に比べると物価は安い、野菜の味はあまり期待できない。内陸国のため、魚介類は高く、種類も少ない。肉類は比較的種類もあるが、薄切り肉はなく硬いものがほとんど。スーパーだけでなく、あちこちで開かれるマルクト（市場）も覗いてみると面白い。量り売りが基本で、自分の好きな量だけ買えるのは、スーパーよりも便利だが、少々割高になることもある。

### 【治安について】

基本的に安全。夜中に女の子一人で出歩いても大丈夫だが、辺りはかなり暗いためおすすめはしない。アジア人は色々な人に絡まれることが多いが、相手にしないこと。道によく物乞いがいるが、その中には貧乏なふりをしてお金をもらっている人もいるのでかわいそうに見えるかもしれないが、やはり相手にしないほうがよい。首都ウィーンなど大都市に行くとグラーツのような安全さは多少薄れるので、貴重品には十分気をつけておきたい。

### 【交遊関係について】

広島大学以外の日本人留学生は上智、神戸、奈良女子大学から来ている。芸術大学や技術大学にも留学生がいるようだが、あまり関わることはないかもしれない。留学生向けのイベントは頻繁に開かれているので参加すると面白い。ただ、英語で話すことが多いこともあるためドイツ語を話したい人は日本語を勉強している人たちの集まりに積極的に行くとういかもしれない。日本人とあまりいないほうがよいと言われるが、個人的には様々な意見交換やイベントを一緒に楽しむことができ、留学しているからこそ生まれる悩みを相談できる相手として非常にありがたい存在だった。日本人、外人問わず交遊関係は広く持つことをおすすめする。